

5 特別史跡名勝天然記念物・史跡名勝天然記念物

(1) 史跡

【特別史跡】

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
1	埼玉古墳群		全国一を誇る大型円墳と武蔵最大の前方後円墳を含む大型古墳が群集する。	行田市埼玉 56ほか (36.1263, 139.4792)	埼玉県 (行田市)	(史跡) 昭13・8・8 (名称変更) 昭32・7・31 (追加指定) 平1・9・22 平25・10・17 平30・10・15 (特別史跡) 令2・3・10	J R高崎線 吹上駅、 秩父鉄道 行田市駅

【史跡】

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
1	吉見百穴		古墳時代後期の230余の横穴墓群。	比企郡吉見町北吉見 325ほか (36.0397, 139.4213)	個人 (吉見町)	大12・3・7	東武東上線 東松山駅
2	南河原石塔婆	2基	文応2年銘および文永2年銘の2基。多くの人名を刻む。	行田市南河原1503 (36.1798, 139.4251)	観福寺 (行田市)	昭3・2・7	J R高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
3	野上下郷石塔婆	1基	応安2年己酉銘。現存する板石塔婆中最大。地上高5.37m。	秩父郡長瀬町野上下郷39 (36.1340, 139.1278)	小坂区 (長瀬町)	昭3・2・7	秩父鉄道 樋口駅
4	小見真観寺古墳	1基	古墳時代後期。横穴式石室を2か所持つ大型の前方後円墳。	行田市小見1124-1ほか (36.1595, 139.4768)	真観寺 (行田市)	昭6・3・30	秩父鉄道 東行田駅
5	水殿瓦窯跡	4基	鎌倉時代の瓦窯跡。押花蝶文様、剣菱紋の宇瓦も発見されている。	児玉郡美里町沼上428-1ほか (36.1911, 139.1625)	美里町ほか (美里町)	昭6・11・26	J R八高線 松久駅
6	鉢形城跡		関東管領上杉氏と後北条氏の北関東支配の拠点の城で、荒川右岸断崖上の天然の要害地に縄張りされている。指定面積約24ha、空堀・土塁が現存する。天正18年秀吉の小田原攻めに際し開城し、その後廃城となった。	大里郡寄居町鉢形2559-1ほか (36.1097, 139.1958)	寄居町ほか (寄居町)	昭7・4・19	J R八高線 秩父鉄道 東武東上線 寄居駅
7	塙保己一旧宅	1棟	群書類従を編纂した、江戸中期～後期の国学者塙保己一の旧宅。	本庄市児玉町保木野325 (36.2040, 139.1162)	個人 (本庄市)	昭19・11・13	J R八高線 児玉駅
8	高麗村石器時代住居跡	2基	縄文時代中期の円形の堅穴住居跡2軒が、重複して検出された。	日高市台79-1 (35.8833, 139.3039)	個人 (日高市)	昭26・12・26	西武池袋線 高麗駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
9	宮塚古墳	1基	古墳時代末期の上円下方墳。上円部直径10m余、下方部西辺24m、東辺17m。	熊谷市広瀬 字山王 608 (36.1516, 139.3452)	個人 (熊谷市)	昭31・5・15	秩父鉄道 大麻生駅
10	大谷瓦窯跡	1基	7世紀後半の登り窯跡。鏡瓦(蓮華紋)出土。	東松山市大 谷 2192-1 (36.0706, 139.4024)	東松山市	昭33・10・8	東武東上線 東松山駅
11	水子貝塚		縄文時代前期の大規模な地点貝塚。環状に分布して形成されている。3.9ha。	富士見市水子 2003-1ほか (35.8456, 139.5612)	富士見ほか (富士見市)	昭44・9・9	東武東上線 みずほ台駅
12	栃本関跡		信州・甲州への道を押さえる位置にあり、大村氏が代々番士をつとめる。役宅は江戸後期。	秩父市大滝 本 1623ほか (35.9447, 138.8627)	個人	昭45・11・12	秩父鉄道 三峰口駅
13	比企城館跡群		畠山重忠の居館跡と伝える菅谷館跡(嵐山町)に、松山城跡(吉見町)、杉山城跡(嵐山町)、小倉城跡(ときがわ町・嵐山町・小川町)が追加指定されたもので、総じて保存状態が良好な、比企郡内の4中世城館跡で構成される。県内初の広域指定。	比企郡	埼玉県、 吉見町、 嵐山町、 ときがわ町 ほか (埼玉県、 嵐山町、 吉見町、 小川町、 ときがわ町)	(「菅谷館跡」に 他3城跡を追加 指定・名称変更 し誕生) 平20・3・28	東武東上線 武蔵嵐山駅
	菅谷館跡	嵐山町菅谷 字城 732ほか (36.0354, 139.3226)		(県指定) 大12・3・31 (国指定) 昭48・5・26 (追加指定) 昭52・2・3 (名称変更) 平20・3・28			
	松山城跡	吉見町北吉見 字城山1番1 ほか (36.0367, 139.4208)		(県指定) 大14・3・31 (国指定) 平20・3・28 平29・10・13			
	杉山城跡	嵐山町杉山 字中窪 513 番1ほか (36.0629, 139.3117)		(県指定) 昭21・3・31 (国指定) 平20・3・28			
	小倉城跡	ときがわ町 田黒 1137-1 ほか (36.0327, 139.2969)		(県指定) 昭11・3・31 (国指定) 平20・3・28			
14	真福寺貝塚		岩槻台地に所在する縄文時代後・晩期の環状貝塚、及び低湿地遺跡。径150m。	さいたま市 岩槻区城南 3丁目 (35.9406, 139.7061)	さいたま市 ほか (さいたま市)	昭50・7・19 (追加指定) 平2・1・30 (追加指定) 平14・12・19 (追加指定) 平28・10・3 (追加指定) 平29・10・13 (追加指定) 平30・10・15 (追加指定) 令元・10・16 (追加指定) 令2・10・6	東武野田線 岩槻駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
15	見沼通船堀		見沼代用水路と芝川間を接続する閘門式運河。享保16年開通、全長約1km。通船差配鈴木家住宅、木曾呂の富士塚(重要有形民俗文化財)、水神社を含む。	さいたま市緑区大間木152-3ほか、川口市東内野594-6ほか (35.8630, 139.7148)	見沼代用水土地改良区ほか (さいたま市・川口市)	(県指定) 昭30・11・1 (国指定) 昭57・7・3 (追加指定) 平14・12・19	J R武蔵野線 東浦和駅
16	河越館跡		河越重頼等の居館跡。土塁・空堀等の一部が現存する。	川越市上戸192-1ほか (35.9309, 139.4520)	川越市ほか (川越市)	昭59・12・6	東武東上線 霞ヶ関駅
17	黒浜貝塚		縄文時代前期を中心とした貝塚を伴う集落遺跡。黒浜式土器の標式遺跡であり、縄文時代の生業や自然環境を考える上できわめて重要な遺跡である。	蓮田市黒浜1886ほか (35.9920, 139.6625)	蓮田市ほか (蓮田市)	(県指定) 昭50・3・31 (国指定) 平18・7・28 (追加指定) 平25・10・17	J R宇都宮線 蓮田駅
18	下里・青山板碑製作遺跡		鎌倉時代から戦国時代の板碑製作遺跡。武蔵国における板碑の中心的な生産地であったと考えられ、板碑の生産と流通だけでなく、板碑に象徴される中世の精神文化を知る上でも重要な遺跡である。	比企郡小川町大字下里字林殿谷2724-1ほか (36.0356, 139.2738)、 字西坂下前2953ほか (36.0331, 139.2856)、 字内寒沢1979ほか (36.0387, 139.2900)	小川町ほか (小川町)	平26・10・6	東武東上線 J R八高線 小川町駅
19	幡羅官衙遺跡群		古代幡羅郡家及び祭祀場等からなる官衙遺跡群。深谷市の幡羅官衙遺跡と熊谷市の西別府祭祀遺跡で構成され、古代においては武蔵国幡羅郡に属する。深谷市教育委員会による調査では、正倉をはじめとする多数の建物群や区画施設、鍛冶工房等の実務官衙域、道路など郡家を構成する諸施設が検出されている。熊谷市教育委員会による調査では、7世紀後半から11世紀前半にかけての、湧水に対する石造模造品を主として用いた祭祀が、土器を用いた祭祀へと変遷していく過程が判明した。			平30・2・13	J R高崎線 籠原駅
	幡羅官衙遺跡	深谷市東方字森吉ほか (36.1931, 139.3263)		深谷市・熊谷市ほか (深谷市・熊谷市)	平30・2・13 (追加指定) 令和2・3・10		
	西別府祭祀遺跡	熊谷市西別府字西方ほか (36.1933, 139.3302)			平30・2・13		
20	神明貝塚		奥東京湾最北部の汽水域に形成された縄文時代後期前半の馬蹄形貝塚を伴う集落遺跡の中でも最大級の規模を持つ遺跡。面積19876.94㎡。集落域と貝層のほぼ全体が良好な状態で保存されており、豊富な動植物遺存体と出土石器等から、集落を営んだ人々の生業形態とその地域性を知ることができる。	春日部市西親野井字神明622番1ほか (35.79607, 139.6264)	春日部市ほか (春日部市)	令2・3・10	東武野田線 南桜井駅
21	午王山遺跡		埼玉県東南部、荒川を望む独立丘陵上に位置する弥生時代後期の大規模な環濠集落。面積13425.24㎡。150棟以上の竪穴建物と丘陵縁辺部に掘削された多重の環濠が検出された。北関東系や南関東系の複数の他地域の出土遺物が認められ、関東における弥生時代後期の地域間交流の実態を考える上で重要な集落遺跡。	和光市新倉三丁目2831-1ほか (35.796065, 139.626449)	和光市ほか (和光市)	令2・3・10 (追加指定) 令3・3・26 (追加指定) 令4・11・10 (追加指定) 令6・10・11	東武東上線 東京メトロ有楽町線・副都心線 和光市駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
22	鎌倉街道上道		鎌倉街道のうち鎌倉から武蔵国・上野国を経て信濃国・越後国へ向かう道を上道と呼んだ。道路遺構だけではなく、宿場と墓域、その境界という一体的な空間が良好に残されており、中世の街道の状況を明らかにする重要な遺跡。	埼玉県入間郡毛呂山町大字市場大林坊ほか (35.95760, 139.34428)	毛呂山町ほか	令4・11・10	東武越生線 武州長瀬駅
23	山王塚古墳		我が国最大規模の上円下方墳であり、その形状や構築方法は、武蔵国の地域的な要素と畿内的な要素の双方が確認される。武蔵国における最終段階の大型古墳のひとつであり、大型古墳築造の終焉を考える上でも重要。	川越市大塚一丁目21番12ほか (35.89971, 139.46176)	川越市ほか (川越市)	令5・3・20	JR川越線 川越駅 西武新宿線 南大塚駅
24	南比企窯跡		6世紀前半から10世紀中頃にかけて総数500基超の窯が操業し、その数は東日本最多。古代において関東の窯業生産の中心的役割を果たすとともに、国分寺造営における労働力編成の一端を示す窯跡として重要。	比企郡鳩山町大字赤沼字石田1415-1ほか (35.98894, 139.33934)	鳩山町ほか (鳩山町)	(一部県指定) 平8・3・19 (国指定) 令5・3・20	東武越生線 武州長瀬駅
25	デーノタメ遺跡		縄文時代中期後葉から後期前葉に営まれた大規模な環状集落跡。台地の下には水場遺構を伴い、当時の植物資源の利用実態と生活の変遷を示している。東日本における縄文時代中期から後期に至る社会の変革と集落の様相を知る上で重要。	北本市大字下石戸下字久保耕地643-1ほか (36.01599, 139.53559)	北本市ほか (北本市)	令6・10・11	JR高崎線 北本駅